

## 【クイズで理解度チェック解説】

ここからは、クイズの解説になります。  
まだクイズを解いていない人は、  
左側の【クイズで理解度チェック】を解いてみましょう！

### ①地球温暖化がウミガメに与える影響は？

答え B

ウミガメの性別は、地球温暖化によって悪影響を及ぼします。砂浜の温度が約29度でオスとメスが同じ割合になります。

なりませんが、砂浜の温度の上昇により、ほとんどの性別がメスになってしまいます。

性別が偏り続けると、絶滅してしまうかもしれません。

地球温暖化を悪化させないようには、

こまめな節電・節水を心がけましょう！

### ②生きているサンゴに触った！サンゴはどうなる？

答え A

サンゴの生息環境よりも体温が高い人間が触ることで

火傷をした状態になり、サンゴの体内から

褐虫藻（植物プランクトン）が損失されるため、

白くなる（白化現象）が引き起こされます。

この白化状態が続くことで、サンゴは死んでしまいます。

サンゴを守るために、海にやさしい日焼け止めを使うこと、ゴミが海に流れないようにポイ捨てを禁止するなどの取り組みを心がけましょう。

綺麗な海と海洋生物を守るための選択を心がけた観光をしましょう！

### ③徳之島でのビーチクリーン活動で

集まったゴミの量は？

答え C

徳之島で行われたビーチクリーン活動では80袋分のゴミが集まりました。このまま増え続けると2050年には魚よりもプラスチックゴミの量が多い海になってしまいます！

そのうちの60%がプラスチックに分類されますが、

それは完全に分解されることなく、目には見えない

“マイクロプラスチック”として存在し続けます。

これが海に住む全ての生物の体内に入ると、死に直結

します。私たちは、マイクロプラスチックを持ち歩いたり、

不要になった服や家具などをリサイクルショップや

寄付に回したりなどみずから始めることから始められます。

日常生活の行動が将来の明るい未来に繋がります！



一人一人の小さな行動でたくさんの命が救われたり、  
ゴミを減らしたりすることができます！  
多くの人がSDGsに目を向け、行動してくれたら嬉しいです！

皆さまへ

本日日本エアコミューターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

私が所属する運航企画部では役割のひとつとしてパイロットの採用を担っています。地域の空を安定的に運航し続けるためには、パイロットの卵となる人材を採用し育てる必要があります。パイロット養成学校で自ら免許を取った方を対象とした採用選考を中心に、また、現在は鹿児島大学と地域密着型パイロット人材創出プログラムにも取り組んでいます。おかげさまで、魅力ある才能を持つ多くの方が弊社に興味を持ってくださいますが、弊社のパイロットの一員として仲間に加わるのは、運命ともいえる「ご縁」です。

弊社の採用選考のなかでは、幼少期・学生のころに空港で見かけたパイロットの姿を見て、また、搭乗した飛行機から見える景色、離着陸時の高揚感が忘れられずパイロットを目指したと語ってくださる方も少なくありません。いま、ご搭乗いただいているお客さまご自身やお子様の中にも、今日のフライトがきっかけで、十数年後は弊社のパイロットとして活躍する「ご縁」を持った方がいらっしゃるかもしれない、ついつい、そんな想いを膨らませてしまいます。

本日のフライトが、みなさまにとって大切な「ご縁」につながりますように。

日本エアコミューター株式会社  
運航企画部 部長 窪園 和典



～表紙クイズの答え～

正解は、左側は長崎県に本社があるオリエンタルエアブリッジ(ORC)、右側が私たち日本エアコミューター(JAC)です。

オリエンタルエアブリッジ(ORC)、天草エアライン(AMX)、日本エアコミューター(JAC)の九州を拠点とする地域航空3社と、ANA、JALの5社は2019年10月よりEAS-LLP\*を設立し、離島生活路線の航空路線維持を目指して共同プロモーションや利用促進に向けた取り組みを実施していますが、2022年10月30日より本邦初となる大手系列を超えたコードシェア（共同運航）を開始しました。

JAC運航便では14路線44便でANAとのコードシェア便の運航を実施しております。

この機会には非コードシェア便を利用して、九州の離島でさまざまな食や文化をお楽しみください！

\*地域航空サービスアライアンス有限責任事業組合 (Essential Air Service Alliance LLP)

↓JACが運航する鹿児島種子島線でも、JAL便とANA便のコードシェアが開始されています！



JAC公式Instagram開設しました！

JAC就航地やATRの魅力などを発信していきます。みなさん、是非、フォローしてください。



どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

2023年～春 (デザイン)  
Vol.22

# JAC NOW

～ゆいタイム～



クイズ：どこの航空会社の客室乗務員かな？

(こたえは裏面へ)

読者アンケートのご案内です！

ゆいタイムに関するアンケートにご協力ください。ご回答いただいた内容は、今後の参考とさせていただきます。なお、本アンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で、毎月2名の方に「SAAB340B モデルプレーン」をプレゼントいたします。なお、当選の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

＜アンケート＞

- ①郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・職業・電話番号
- ②今号で良かった記事を下記の(ア)～(エ)から選び、また、その理由もお書きください。
- ③今号で良かった記事を下記の(ア)～(エ)から選び、また、その理由もお書きください。
- ④今号の「ゆいタイム」への感想などをご自由にお書きください。

(ア)表紙クイズ  
(イ)運航企画部ご挨拶  
(ウ)あまぶる+plus 取り組みのご紹介  
(エ)JACあおぞら日記「整備管理部編」

〒899-6495 鹿児島県霧島市溝辺町麓787-4  
日本エアコミューター(株)「ゆいタイム」アンケート係

※アンケートにご応募いただいたお客さまの個人情報、賞品をお届けするため、アンケートに関する業務、そして「ゆいタイム」記事作成のための参考とさせていただきます。それ以外の目的では使用いたしません。

バックナンバーは、JACのホームページでご覧いただけます。  
(<http://www.jac.co.jp/magazines/>)



この紙は国産竹100%を原料に鹿児島県薩摩川内市で作られる「竹紙」を使用しています。木を切らず竹から紙を作る取り組みは、環境にやさしく、里山や生物多様性の保全、地域経済に貢献しています。



しまじかん

## あまぶる+plus

奄美×しまぶる（水が青く透き通って綺麗なお水）を表しており、奄美の魅力を伝えるだけでなく、SDGs目標達成に繋がるアクションを行うという意味が込められています。

### 【クイズで理解度チェック!】

島へ観光に行く前に理解を深め、観光地に住んでいる人にとっても気持ちの良い観光を心がけましょう!

#### ①地球温暖化がウミガメに与える影響は?

A. 目が見えなくなってしまふ  
B. 性別が偏ってしまふ  
C. 泳げなくなってしまふ

#### ②生きているサンゴに触った!サンゴはどうなる?

A. やけどをしてしまふ  
B. 崩れ落ちてしまふ  
C. 手に吸い付いて離れなくなる

#### ③徳之島でのビーチクリーン活動で集まったゴミの量は?

A. ゴミ袋20個  
B. ゴミ袋45個  
C. ゴミ袋80個

解答と解説は右のページにあります!

### あまた奄美群島のSDGsに貢献できるかも?

ビーチクリーンは奄美群島でも開催されています。impressionさんのビーチクリーンでは、以前ゴミ袋一つにつきキーホルダーを配布するイベントがありました。観光しながらSDGs体験をして島と一緒に守っていきましょう!

Instagram → @impression0526

### 島人の声

実際に住んでいる徳之島の人へインタビューしました! 他にもたくさんインタビューしてくれた方については、私たちのInstagramで見ることが出来ます!)

徳之島には綺麗な場所がたくさん!!  
でもそこは観光地であると同時に居住地であり、中には氏神様が祀られている場合もあります。まやみに立ち入り、写真を撮ったりするのは控えましょう。  
Shima Base 大保さん  
@shima\_base\_tokunoshima

徳之島では夕方ごろ、間牛の散歩をしています! どこで出逢う事があるかわからないので、運転はゆっくり安全運転で!! 写真を撮る際やSNSへの投稿は必ず確認してください!!  
徳之島 遊学PROJECT 川口さん  
@yuu\_gaku.project

あまぶる+plus 2 10月まで!

私たちは桜美林大学BM学群 尾川ゼミに所属する大学生9人組です! SDGsを身近に感じてほしい一人でも多くの人が行動を起こしてほしいという想いから活動しています。

私たちの活動の様子はInstagramに記載されています!





本日はご搭乗ありがとうございます！  
今回は、わたしたち整備士が、日本エアコミューター（JAC）ではたらく、仲間の仕事について紹介します。

# JACあおぞら日記

## 第3回 整備管理部編



整備部



整備管理部

航空機への整備作業を行う整備士とは別に、JACには航空機整備の管理を行うプロフェッショナル集団である「整備管理部」と呼ばれる部署があります。複数のグループから成り立っており、違う視点から航空機の安全性・品質向上のために日々奔走している、そんな整備管理部について紹介します。

### 技術グループ

技術グループでは、日々の航空機の状況をモニターし、不具合対策を立てたり、特定の部品の不具合傾向をいち早く知ることで、運航への影響を事前に防いでいます。

また、ATR型機を運航している航空会社と情報共有を行い、世界中の航空会社と協力して航空機の品質向上に努めています。



手順書のこの解釈が難しいのですが…

この表現はわかりにくいですね…メーカーに問い合わせてみましょう！



よし、この計画で行きましょう！

人員配置よし、工具の点検もこの日までは完了、部品の調達もよし、インキュレーがあっても余裕のある計画…！

### 管理グループ

日々のフライトの状況や整備士の人数をみながら、いつ整備を実施するか計画や、工具があるかの確認、他社機（地域航空会社のHAC/AMX(※)など）整備の受付、整備に関わるイベントの調整など、さまざまな業務を担当している何でも屋です。

JAC機を他社に貸し出す場合も、管理グループが窓口となります。

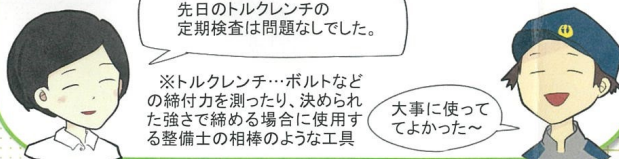
一整備として全ての情報を把握しておく必要があり、簡単に言うとう整備の司令塔的な役割でもあります。

### 品質検査グループ

整備にかかわる業務のルールづくりや見直し、磨き込みを行うグループです。ここでは、日々行われる作業が、ルールを守っているかチェックして、JAC整備の品質を支えています。

また、職場でのヒヤリハット(危ないことが起こったが、幸い災害には至らなかった事象のこと)の収集・分析・対応を通じて、JAC整備全体の安全の層を厚くしていく取り組みをしています。

↓航空機だけでなく、整備作業に使用する計測器についても実施しており、品質検査グループが担当しています。



先日のトルクレンチの定期検査は問題なしでした。

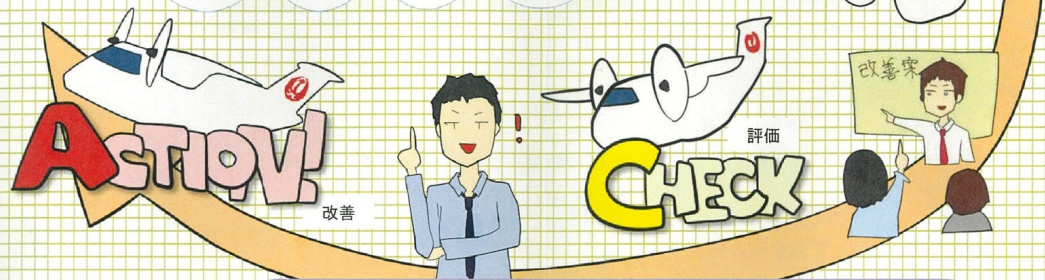
※トルクレンチ…ボルトなどの締付力を測ったり、決められた強さで締める場合に使用する整備士の相棒のような工具

大事に使ってよかった～

※おなじATR型機を就航する HAC=北海道エアシステム、AMX=天草エアライン

### 同じ不具合は繰り返さない！

不具合が原因で欠航や遅延が発生してしまった場合は、整備管理部ではその一件一件に対してすべてレビューを行っています。「この空港にこの部品・工具があればよかったのに」という事例があればモノの配備を。マニュアルの記載が分かりにくくて確認に時間を要した場合は、もう少しわかりやすい記載に。「不具合となる傾向がつかめてきたので、フィルター詰まり具合などの点検を増やしたり、大きな不具合につながる前に〇〇時間で交換するようにしよう！」など、各グループの視点から、航空機の品質向上に効果のある対策を検討し、整備部とも連携しながら航空機不具合による欠航や遅延を一本でも減らせるよう努めています。



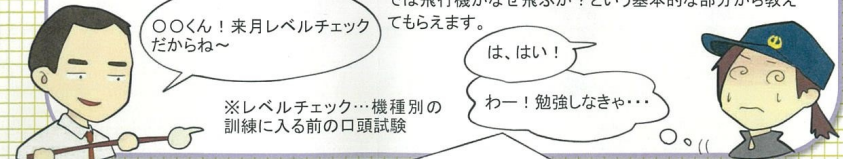
### 訓練グループ

整備士は国家資格の取得が必須ですが、その資格取得を後押しする、学校でいうところの「先生」がいるグループです。

今までに多くの資格者を養成しており、JACのATR型機の「一等航空整備士」資格保有者数は日本のエアラインで一番の多さとなりました。

JACは訓練グループ内だけでなく、現場の整備士も教官の資格を持っており、現場の知識・技術を若い整備士に伝えやすい体制になっています。また、国内他社のエアラインへの資格者養成のお手伝いもしています。

↑整備士になるための勉強は大変ですが、訓練グループでは飛行機がなぜ飛ぶか？という基本的な部分から教えてもらえます。



〇〇くん！来月レベルチェックだからね～

※レベルチェック…機種別の訓練に入る前の口頭試験

は、はい！

わー！勉強しなきゃ…

### 補給グループ

ねじ1本から航空機用エンジンまで、全ての航空機部品の購入・修理発注・輸送・保管を行っているグループです。JAC/HAC/AMX(※)機あわせて15機の航空機のために保有している部品は6,000品目、40万点に及びます。一つ一つの部品は、補給グループが実施する厳しい検査に合格できたものだけが、JAC機の部品として、使用することができます。

また、部品の質を保つために、それぞれの部品には有効期限が設定され、24時間、適切に温度管理された部品庫で保管されています。

→取り寄せの早さもプロの技！昨日まで海外にあった部品が今は鹿児島空を飛んでいることも…。

先日オーダーした部品は今、成田に到着しました！鹿児島には今夜の〇〇便で届きますよ



はやいんですね！ありがとうございます。

整備管理部と現場の整備士(整備部)によって、JAC機の品質(安全性・快適性・定時性)の向上が行われています。

文・構成 JAC整備管理部&整備部  
絵・編集 整備部 楠田